

南部片富士湖だより

No. 141 平成30年2月26日 発行

北上川ダム統合管理事務所 管理第二課

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地 TEL 019-643-7972 FAX 019-643-7976



第3回 北上川水源地域セミナーが開催されました

『死の川からの再生 ～松尾鉱山の光と影 北上川の今と昔～』

平成30年1月27日(土)岩手県立博物館講堂において、北上川水源地域交流会主催(共催:岩手県立博物館、北上川「流域圏」フォーラム実行委員会)による「第3回北上川水源地域セミナー」が開催され、水源地域ビジョン関係者を含め県内から32名が参加しました。

講師に、岩手県立博物館専門学芸調査員の武田麻紀子さんを迎え、「死の川からの再生～松尾鉱山の光と影 北上川の今と昔～」と題して講演が行われました。

松尾鉱山がかつて東洋一の硫黄鉱山として栄え、地域産業や文化、日本経済に大きく貢献していたことや、坑内水放出により北上川が水質汚濁され人々の暮らしや産業に大きな影響を与えたことなど、当時の映像を交えながら講演されました。

北上川の歴史や、現在も続いている中和処理について教えていただきながら、かつて死の川と呼ばれた北上川の再生する姿について改めて学ぶ機会となりました。講演後には、会場から多くの感想が寄せられました。



「障がい者のダムの役割学習 & ダム見学会」が行われました



セミナールームにてダムの概要説明



南部片富士湖ものしり館見学

平成30年2月20日(火)に、四十四田ダムにおいて「障がい者のダムの役割学習&ダム見学会」が開催され、矢巾町の社会福祉法人いちご会生活介護センター「いちご園」から、13名が参加しました。

この取り組みは、障がいを持つ人たちが、四十四田ダムの見学を行い、ダムの役割などについて学ぶほか、水辺の新たな魅力を発見することを目的として開催されました。

はじめに、南部片富士湖ものしり館にあるセミナールームにて四十四田ダムの管理の方法などについて説明を受け、洪水から下流を守っていることや、上流から流れてくる流木やゴミの処理など、さまざまな役割があることを知りました。

また、ダムの生物や環境についての説明があり、皆さん興味深く聞いていました。

平成29年度 第1回県北地区安全パトロール



平成30年1月26日(金)に、県北地区の工事・業務担当者と北上川ダム統合管理事務所の職員の合計37名が参加し、「平成29年度第1回県北地区安全パトロール」を実施しました。

このパトロールは工事現場における安全性の向上と事故防止を目的として毎年実施しているものです。

今回現場パトロールを行った工事は「御所ダム管理庁舎改修工事」や「四十四田ダム維持工事」で、参加者は各班に分かれ危険箇所が無いことや、良好な事項などの確認を行いました。

点検した工事現場は全般的に整理整頓され、安全対策にも配慮されていることが確認されましたが、一部改善箇所もあり検討会では各班から点検結果が報告されました。なお、参加者はこの安全パトロールを機会にそれぞれが担当している工事・業務の安全管理をより万全にしていけることを確認しました。



ダム見学

東京都立荒川工業高校 電気科2年生 65名の皆さん



ダムの概要説明



天端での説明

修学旅行で岩手に訪れた皆さんは、四十四田ダムにも見学に来ました。見学当日は雪が降っていて、寒い中での見学でしたが、皆さん積極的に質問をしたりしながら、短い時間の中でもしっかりと学んでいる様子でした。



南部片富士湖は真っ白



白く凍っていますが…ここは湖です

あぶないから、近づかないでね！！



お知らせ



2月7日のゲート点検の際、四十四田ダムの直下流で魚の大量死が見つかりましたが、貯水池の水質やへい死した魚について検査を行なった結果、異常は確認されませんでした。

また、魚類の専門家からは「魚が集団で狭い場所に集まり酸素不足で死亡した可能性が高いと思われる」との助言をいただいています。

今後も貯水池の巡視を行い、早期対応に努めて参りたいと思います。

四十四田ダムの水質 (1月10日採水)

- 水温 3.0 °C
- PH 7.6
- COD 1.3 mg/l
- ヒ素 なし

(水質悪化の指標：3以上)

今回の調査でも異常はありませんでした



編集後記



2月になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。現在開催されている「平昌オリンピック」では熱い戦いが繰り広げられ、私も連日テレビを見て応援しています。競技に全力で挑む選手の皆さんの姿を見ながら、「寒すぎてもう何もしたくない…」と、この冬何度も言っていた、わがままな自分を反省しています(^_^;)。(内)